

会 議 録

会 議 名	第 5 7 回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 議案 (1) 市民活動支援センター運営協議会の会長の選任について (公開) (2)令和 7 年度市民活動支援センターの事業実施計画(案)に ついて (公開) (3)市制施行 7 5 周年記念事業「のだ市民活動ふれあいフェ スティバル 2 0 2 5」第 8 回市民活動元気アップふえす たの開催計画 (案) について (公開) (4)市制施行 7 5 周年記念市民アイデア事業の第 1 回審査に ついて (公開) 2 報告事項 (1)令和 6 年度市民活動支援センターの登録状況 (令和 7 年 3 月 3 1 日現在) について (公開) (2)令和 7 年度市民活動支援センターの登録状況 (令和 7 年 4 月 1 日現在) について (公開) (3)令和 6 年度市民活動支援センターの利用状況 (令和 7 年 1 月～3 月) について (公開) (4)第 6 回こまめカフェの開催結果について (公開) (5)令和 6 年度市民活動支援センターの事業実施報告につい て (公開) (6)令和 7 年度市民活動団体支援補助金について (公開)
日 時	令和 7 年 4 月 3 0 日 (水) 午後 2 時から午後 4 時まで
場 所	野田市役所 8 階 大会議室
出席者氏名	会 長 立山 喜弘 副 会 長 北倉 恵美子 委 員 岩井 勝治、加藤 眞智子、名代 ちよ子、

	芝田 栄太郎、辻 朝子、渡邊 勝男 神山 憲次郎、矢作 勝美 事務局 市民生活部長 池田 亜由美 市民生活課長 須賀 良平 市民生活課長補佐 岡田 敦子 市民生活課コミュニティ係長 鈴木 智子 市民生活課コミュニティ係主任主事 田部井 紘美 市民活動支援センター長 皆川 賢一 支援補助員 向佐 美知子 主任コーディネーター 釜田 正雄 コーディネーター 荒井 ハツヨ コーディネーター 藤野 孝子 コーディネーター 武原 忠志
欠席委員氏名	無し
傍聴者	1名
議事	第57回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 2 市民生活部長挨拶 池田市民生活部長挨拶 3 事務局から委員の辞任及び就任を報告 令和7年3月31日付けで竹澤勇司会長が辞任され、同年4月1日付けで渡邊勝男委員が就任されたことを報告した。 4 議長の選任 会長不在のため、設置要領第6条第4項に基づき副会長に議事進行を求め	

た。

5 議事

議案(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長の選任について

鈴木係長

令和7年3月31日付けで竹澤会長が辞任されたため、設置要領第6条第4項に基づき副会長に議事進行を求めた。

議長（立山副会長）

議案(1)について説明を求めた

須賀課長

議案(1)「市民活動支援センター運営協議会の会長の選任について」を説明した。

議長（立山副会長）

議案(1)について、まず会長を決定するため、選出方法について各委員に意見を求めた。

岩井委員

指名推選でお願いしたい。

議長（立山副会長）

他に意見はないかを問うた。

《異議無し》

議長（立山副会長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

岩井委員

立山委員を推薦したい。

議長（立山副会長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し》

議長（立山副会長）

立山委員を会長に決定することについて問うた。

《異議無し⇒立山委員を会長に決定する。》

議長（立山会長）

会長が決定したので会長席に移動し挨拶した。

立山会長挨拶

立山会長挨拶

鈴木係長

立山委員が会長就任したことにより、副会長が不在となることから副会長選任について追加議案として協議することを求めた。

議長（立山会長）

副会長の選任についてを追加議案にすることとし、選出方法について各委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

追加議案について、副会長を決定するため、選出方法について各委員に意見を求めた。

岩井委員

指名推選でお願いしたい。

議長（立山会長）

他に意見はないかを問うた。

《異議無し》

議長（立山会長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

岩井委員

北倉委員を推薦したい。

議長（立山会長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し》

議長（立山会長）

北倉委員を副会長に決定することについて問うた。

《異議無し⇒北倉委員を副会長に決定する。》

議長（立山会長）

北倉委員を副会長に決定したので、副会長席に移動し挨拶することをお願いした。

北倉副会長

北倉副会長挨拶

議長（立山会長）

議案(2)の前に、報告事項から審議をすることについて了承を求めた。

各委員

特になし

報告事項(1) 令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和7年3月31日現在）について

報告事項(2) 令和7年度市民活動支援センターの登録状況（令和7年4月1日現在）について

議長（立山会長）

報告事項(1)、(2)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和7年3月31日現在）について、報告事項（2）令和7年度市民活動支援センターの登録状況（令和7年4月1日現在）についてを説明した。

議長（立山会長）

報告事項(1)、(2)について、委員に意見を求めた。

芝田委員

令和7年度市民活動支援センター登録状況について、ボランティア団体が前年同時期比で23団体の減となっている理由は何か。

向佐支援補助員

更新登録がされていない団体であり、連絡をとったうえで更新をすすめているところである。

岩井委員

NPO団体を含め25団体の減となっているが、ほぼ登録手続きしていただけるということか。

向佐支援補助員

ほぼすべての団体から登録していただけると考える。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(1)、(2)については、以上とする。

報告事項(3) 令和6年度市民活動支援センターの利用状況（令和7年1月～3月）について

議長（立山会長）

報告事項(3)について、説明を求めた。

荒井コーディネーター

(3) 令和6年度市民活動支援センターの利用状況（令和7年1月～3月）についてを説明した。

議長（立山会長）

報告事項(3)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

相談等業務のうち、パソコンが大幅増となっているがなぜか。

向佐支援補助員

総会資料作成についての相談が最も多い。また、クラウド上でデータを共有する取組を始めた団体があり、このことについて高齢の方から教えてほしいなどの相談が増えている。

芝田委員

相談業務のうち団体立ち上げがあるが、令和6年0件、令和7年は1件となっている。現在、ボランティア団体を立ち上げるような方はいないのか。

向佐支援補助員

コロナ禍以降、若い方を中心に団体が立ち上がっていると感じる。団体を立ち上げてからはじめて当センターに来ることが多く、相談件数には計上されていない。

神山委員

フリースペースなどの利用状況について、予約せずに当日に利用することも可能か。

向佐支援補助員

原則は事前予約をお願いしているが、特に平日に予約が入っておらず使用していない場合は当日利用も可能である。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(3)については、以上とする。

報告事項(4) 第6回こまめカフェの開催結果について

議長（立山会長）

報告事項(4)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

第6回こまめカフェの開催結果についてを説明した。

議長（立山会長）

報告事項(4)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

こまめカフェで行ったアイスブレイキングとはなにか。

向佐支援補助員

開始前にゲームなどを行うことで話しやすい状況や和やかな雰囲気となるよ

うにすることである。

渡邊委員

初参加者はどの程度いたのか。

向佐支援補助員

全体の3／4程度である。

議長（立山会長）

若い方や子育て世代の参加はあったか。

向佐支援補助員

子育て世代の参加があった。定年退職された方の参加が多くなってはいる。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(4)については、以上とする。

報告事項(5) 令和6年度市民活動支援センターの事業実施報告について

議長（立山会長）

報告事項(5)について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

令和6年度市民活動支援センターの事業実施報告についてを説明した。

議長（立山会長）

報告事項(5)について、委員に意見を求めた。

辻委員

楽しくサークル活動をする以外に、不登校などの悩みをもつ団体に対する関わりや働きかけのきっかけ作りができればよいと思う。運営協議会として助成金以外にも何かできることはないかと考えていきたい。

釜田主任コーディネーター

令和7年度事業計画において、委員から要望のあった団体交流会を盛り込んでいる。また、委員の皆さんには主催イベントでスタッフとして参加していただく、直接御覧いただくという機会を設けている。今回計画している団体交流会への御参加や、会報誌発行時、助成金の勉強会などに参加いただき、生の声を聞くというのもよいと思う。

辻委員

元気アップふえすた参加団体のうち団体登録していない団体へ働きかけることも大事なことと感じる。そういった呼びかけを運営協議会で行っていければよいと思う。

岩井委員

市役所において係長職以上を対象としたまちづくり研修はどうだったか。

釜田主任コーディネーター

令和6年度は市人事課の職員研修の一環として、対象者は係長以上とし午前・午後の部の全2回開催した。時間が短かったことから、今年度の開催については3時間程度とし、ワークショップを盛り込むなどより深く掘り込んだ内容で実施する考えである。

岩井委員

職員の皆さんも一緒になって街を盛り上げるようになるとよいと思う。

加藤委員

市の職員でまちづくりに関わっている方はどれくらいいるのか。

須賀市民生活課長

把握していないが、機会を通じて調査などしていきたい。

加藤委員

意識改革をお願いしたい。

岩井委員

前市長の根本氏は野田市まちづくり100人委員会を発足させ、皆さんの意見を聞いて市の方向性を決定するということをしていた。市役所職員の力を発揮するだけでなく、それに加え街なかにある素材などを活用するとよいと思う。

池田部長

市職員が地域に入り、皆さんと一緒に活動することは大事なことであり、市民の声を聞くことで勉強になる。市長も地域に入って直接意見を聞けと常々言っている。しかし、それが行動に移されていないこともあり、また研修も89名の参加で止まったので参加者が増えるよう、本協議会でいただいた意見を市長に報告し、職員に広く周知するようにしたい。

渡邊委員

団体と市の関わりにおいて、後援、委託、分担という関わり方があると思う。これによって施設利用の際などはよい対応や理解をいただくことがある。活動団体と市の関わりをわかりやすくしてもらえると一緒に行動しているという連帯感が生まれ、よいのではないか。

矢作委員

自分が市役所に勤務していた時、民生関係や子ども発達、障がいなどに関わっていた。市職員にはがんばってもらいたい。

議長（立山会長）

市民活動フェスティバルについて、令和6年度は59団体の参加、1,000人の来場とあるが、これ以上増やすことはできないのか。

釜田主任コーディネーター

入場制限するほどにはならないが、中央公民館1階などは大賑わいになることがある。中央公民館や福祉会館、ガスホールや外会場もあるため、1,500人の来場は可能である。スタンプラリーのため混雑する箇所もあるが、今年度も目標としては来場者を増やせばよいと考えている。

議長（立山会長）

参加団体をこれ以上増やすことは難しいように思える。

釜田主任コーディネーター

参加団体59団体の内訳は、登録団体に限定すると元気アップふえすたにおいては21団体となる。これを踏まえて令和7年度は26団体へ増やしていきたい。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(5)については、以上とする。

報告事項(6) 令和7年度市民活動団体支援補助金について

議長（立山会長）

報告事項(6)について、説明を求めた。

須賀市民生活課長

令和7年度市民活動団体支援補助金についてを説明した。

議長（立山会長）

報告事項(6)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

意見がないようなので、報告事項(6)については、以上とする。

議案(2) 令和7年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について

議長（立山会長）

議案(2) について、説明を求めた。

皆川センター長

令和7年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）についてを説明し

た。

議長（立山会長）

議案(2)について、委員に意見を求めた。

辻井委員

パソコン学習会でパワーポイントを学んでいるが、市民活動支援センターにおいてスクリーンやプロジェクターの貸し出しをしているか。

釜田主任コーディネーター

市民活動支援センターでは貸し出しはしていないが、社会福祉協議会で行っているため御案内している。

辻委員

市民活動支援センターでWi-Fiは使えるようになったか。

須賀市民生活課長

まだ使うことはできないが、市役所関係部署において調整中である。導入をしたいと考えている。

辻委員

登録団体交流会はよい取組だと思う。初回には関連する市関係部署の同席などを依頼することはできるか。

釜田主任コーディネーター

交流会のみならず、他の学習会などでもきっかけ作りとして開催している。新たな取組ではなく、できることから進めていきたい。

加藤委員

パソコン学習会でパワーポイントを学ぶのはよいと思うが、定型編集するだけのCANVAのほうがよいのではないか。

釜田主任コーディネーター

パソコン学習会はひとつのきっかけ作りとしている。CANVAについては検討していく。

議長（立山会長）

支援団体補助金について募集要項の見直しを検討とあるが、何を検討するのか。また、野田夏まつり躍り七夕に参加するとあるが、市制施行75周年と関連付けているのか。こまめカフェ施設見学時の交通手段はどうするのか。

釜田主任コーディネーター

補助金募集要項の見直しについては随時行っているが、令和8年度以降の補

助要件の見直しをしていきたいと考えている。また、野田夏まつり躍り七夕についても、市制施行75周年記念事業として実施する予定である。市民活動支援センターはけやき夢ロード商店街、登録団体と協力のもと企画案のとりまとめをしているところである。

施設見学については、団体ごとに行ってもらっている。

加藤委員

イベントや事業の周知は市報によって行われていることが多いが、自治会未加入者に対してどう周知していくかを検討してほしい。

釜田主任コーディネーター

市報のほか、ホームページやチラシ、まめバス内における周知などがある。イベント案内チラシを作成し、センターのホームページへ掲載するとともに、市後援事業については市ホームページへの掲載も行っている。市民活動つうしんの紙面においてもイベント案内や会員募集を掲載し、公民館や図書館などで配布している。

須賀市民生活課長

市報については広報広聴課が所管しているが、よい方向に検討していると聞いている。

議長（立山会長）

意見がないようなので、議案(2)について承認いただけるか。

各委員

異議なし

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、議案(2)のとおりとする

議案(3) 市制施行75周年記念事業「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2025」第8回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）について

議長（立山会長）

議案(3)について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

市制施行75周年記念事業「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2025」第8回市民活動元気アップふえすたの開催計画（案）についてを説明した。

議長（立山会長）

議案(3)について、委員に意見を求めた。

名代委員

周知の手段に Facebook と Instagram はあるが、X は活用しないのか。

須賀市民生活課長

市において X は防災情報発信ツールとして利用されている。イベントなどの広報のための X アカウントは持っていない。

議長（立山会長）

3つのイベントを同時開催するとのことだが、また別々で開催するのか。

釜田主任コーディネーター

3つのイベントを統一した大イベントにしたいと考えている。

辻委員

物販やキッチンカーなどは出展されるのか。

釜田主任コーディネーター

ふれあいハートまつりにおいて地区社会福祉協議会などが物販をしている。

参加者や来場者から、物販特に昼食の販売について要望がある。

議長（立山会長）

スタンプラリーについては昨年度と同様で考えているか。

釜田主任コーディネーター

あくまでもフェスティバルを楽しむ一環でスタンプラリーを開催している。

団体の皆さんも自分たちの活動をより多くの人に見て欲しいという気持ちもあるため、8月に開催予定の参加団体打合せにおいて御意見を聞き、また3つの事務局で検討したうえで、第2回参加団体打合せ時には決定したいと考えている。

北倉委員

令和8年度にむけてイベントの一本化を検討していくとのことだが、令和7年度は基本理念を統一していくということによいか。

釜田主任コーディネーター

そのとおりである。

北倉委員

担当課が3つとなるが、今年度は引き続き各団体をフォローアップすることによいか。8年度は担当課ではなくなるということか。

釜田主任コーディネーター

令和7年度は3つのイベント同時開催ということで実施したい。

3つのイベントそれぞれに開催目的があり、1つのイベントにする場合は1つの事務局として組織することとなる。

北倉委員

組織するのは誰か。

釜田主任コーディネーター

これからの組織作りは福祉部が中心となる。

名代委員

市制施行75周年記念ということであれば、スタンプラリーの記念品も特別なものが用意されるのか。

釜田主任コーディネーター

令和6年度は委員からの意見を受け、チーバくんグッズのほか、急遽予算を計上し参加賞として防災グッズを購入した。さらに災害用備蓄品を準備した。今年度も県に対しチーバくんグッズを要望しているほか、市民生活課において参加賞を当初予算で計上しているので、検討していきたい。

池田部長

令和8年度以降のフェスタ開催について、同時開催とイベント一本化については、メリットとデメリットを皆さんに確認したうえで、どういった開催方法がよいかを検討したいと考えている。

議長（立山会長）

意見がないようなので、議案(3)について承認いただけるか。

各委員

異議なし

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、議案(3)のとおりとする。

議案(4) 市制施行75周年記念市民アイデア事業の第1回審査について

議長（立山会長）

議案(4)について、説明を求めた。

須賀市民生活課長

市制施行75周年記念市民アイデア事業の第1回審査についてを説明した。

議長（立山会長）

議案(4)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

意見がないようなので、議案(4)について承認いただけるか。

各委員

異議なし

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、議案(4)のとおりとする。

議長（立山会長）

市制施行75周年記念市民アイデア事業について、事業を実施するにあたり
財政支援などはあるか。

須賀市民生活課長

ロゴマークの使用、横断幕、のぼり旗の使用などについて承認するものであり、補助金などの予算措置はしてない。ただし、他部署において補助対象としているものや、記念事業とは別に補助事業に該当するものがある。私に問合せ
ていただければ確認する。

鈴木係長

次回の市民活動支援センター運営協議会の日程について、令和7年7月30
日を予定している。

議長（立山会長）

会議の閉会を宣言した。